

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード		5-4-1		事業名	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担
担当	総務局国際部交流課 工藤 奈津子 211-2032				
全 体 計 画					
事業内容	「ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo」は、姉妹都市であるミュンヘン市との友好関係を深め、会場を訪れた市民にミュンヘンの文化に親しんでいただくなど国際理解の促進を図るとともに、地元商店街との連携を深めながら、中心市街地のにぎわい創出に資するため実施している。本事業では、「クリスマス市」を開催するため、本市、商工会議所、都心部商店街、企業、札幌国際プラザ等で設置した実行委員会に対し、本市から負担金を交付するものである。 【開催概要】 開催期間:11月下旬～12月下旬 会場:札幌大通公園2丁目(ホワイトイルミネーション会場) 物品販売:ドイツおよび地元出店者によるクリスマスグッズやドイツ工芸品等の物販と、ワイン、ソーセージ、ドイツ菓子等の飲食販売 ステージイベント:コーラス、楽器演奏、ジャグリング等 屋内イベント:ドイツ文化の紹介、ドイツ語講座等		<年度別の事業内容>		
			各年度において、11月から12月の開催期間中に約30ブースの店舗において物品及び飲食物の販売を行う。また、ステージでの各種イベントを展開する。		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容（決算）		平成20年度事業内容（決算）		
	全体計画の内容に加え、「さっぽろホワイトイルミネーション」と連携して同日スタートとし、オープニングセレモニーを合同で開催することで話題性を高め、多くの来場者を得るなどにぎわいを創出した。開催場所については当初の予定どおり、大通公園2丁目ホワイトイルミネーション会場とし、開催期間は11月22日から12月16日までの25日間。出店数は21ブース。来場者数は45万1千人。		全体計画の内容に加え、「クリスマス市」の会場デザインやさらににぎわいのあるものにするためのアイデアを募集する企画コンペティションを実施し、運営を民間委託した。また、クリスマス・イブまで開催期間を延長し、屋外休憩テントを設置する等、来場者からの要望を反映させた。「さっぽろホワイトイルミネーション」と連携して同日開始とし、会場は大通公園さっぽろ2丁目ホワイトイルミネーション会場、期間は11月28日から12月24日の27日間での開催となった。出店数23ブース。来場者数は目標を超える50万6千人。		
	平成21年度事業内容（予算）		平成22年度事業内容（予算）		
	全体計画の内容に加え、20年度に続き、運営に関しては企画コンペティションを実施して、民間からのアイデアを募集する。また、来場者が多く見込まれる休前日は終了時間を30分遅らせ、「クリスマス市」をより長く楽しんでもらえるようにするとともに、さらにクリスマスらしい雰囲気作りができるよう工夫をこらして来場者数アップを目指す。開催期間は11月27日から12月24日までの28日間、会場は大通公園2丁目さっぽろホワイトイルミネーション会場で行う。				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-4-1		事業名	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担			
達成目標の状況							
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)
来場者数			44.6万人	45.1万人	50.6万人	50万人	50万人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■市民との連携、市民参加 本事業に関しては、食器洗浄ボランティア、通訳ボランティアとして多くの市民が参加・連携している。特に食器洗浄ボランティアについては運営についても市民団体に委託するなど、市民の積極的な参加を得ている。 ■企業等との連携・協働 [資金協力]20年度は73団体から金銭的・物的協賛を得ている。 [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力]実行委員会委員として複数の企業・団体が、企画・立案に関わっている。 ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり ボランティアの公募や手軽なプログラムの用意など、多くの市民が参加しやすい工夫をしている。							
評 価 (成 果)				課 題			
本事業は、2002年に本市とドイツ・ミュンヘン市との姉妹都市提携30周年を記念して当初1回限りで終了する予定で開始されたが、市民、観光客等から高い評価をいただき、継続してきた経緯がある。7回目の開催となった2008年には過去最多来場者数50万6千人を記録し、来場者アンケートでは満足度が90%を超えるなど多くの支持を得ており、観光端境期となる初冬季札幌の観光に寄与するところが大きい。また、市民にとっては姉妹都市ミュンヘンの文化に直接触れることができる貴重な機会であり、国際理解の促進が図られている。				2008年度には運営を民営委託して事務軽減と民間知識の活用を図り、効率化を進めてきた。今後もさらなる効率化を目指すとともに、安定的な財政運営を実現する必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
今後の継続的な実施を見据え、体制の簡素化など、運営の効率化を図るとともに、民間活力の積極的な導入を模索して札幌市からの負担金を逡減していく。							

計画体系コード	5-4-1		事業名	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担		
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	11,000	10,000	10,000	9,000	40,000
	財国・道支出金	0	0	0	0	0
	財源市債	0	0	0	0	0
	財源内のその他	0	0	0	0	0
	財源内訳一般財源	11,000	10,000	10,000	9,000	40,000
予算	事業費	11,000	10,000	9,500	-	30,500
	財国・道支出金	0	0	0		0
	財源市債	0	0	0		0
	財源内のその他	0	0	0		0
	財源内訳一般財源	11,000	10,000	9,500		30,500
実績	事業費	11,157	9,772	-	-	20,929
	財国・道支出金	0	0			0
	財源市債	0	0			0
	財源内のその他	0	0			0
	財源内訳一般財源	11,157	9,772			20,929
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				76.1%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						
[21年度]						